



# 夢の本棚

発行所：松居直コレクションプロジェクト  
代 表：金戸 美紀子  
事務局：石川県小松市  
小馬出町10-3  
空とこども絵本館  
☎ 0761-23-0033  
bookrin@city.komatsu.lg.jp

【活動方針】①絵本の楽しさを伝える〈親子読書の奨励〉②絵本の歴史を学び、進むべき方向を考える〈絵本文化の研究〉  
③市が所有する知的財産として、次世代に正しく伝える〈絵本文化の継承〉

## 祝 絵本館誕生より10周年

数多くの市民の思いが込められた施設に

◆2006（平成18）年7月、「空とこども絵本館」が誕生して10年。去る4月29日、絵本館ホール夢の本棚で、松居直コレクションプロジェクトのメンバーをはじめ、絵本館ボランティアの皆様にも呼び掛けて「開館までの経緯」について知る機会を設けました◆講



師には、絵本館建設にあたって幅広く市民の意見を

集約し、そのコンセプトや設計等に多大な尽力をされた榎田 誠氏（当時・小松市教育委員会文化課学芸員、現・小松市埋蔵文化財センター所長）をお招きし、開設に到るまでの数多くのご苦労についてお聞きしました。以下に、講演の概要を記します。

### 開館までの道のり

◆昭和6年に「小松警察署」として建てられた小松市でも最古級の鉄筋コンクリートの建物は、昭和47年に小松警察署が移転になって以降、小松市が県より借り受けて、昭和63年までは小松市教育委員会の庁舎として、また、平成12年までは教育委員会分館（埋蔵文化財調査室）として利用していました◆平成10年に、隣接地に建設した「宮本三郎美術館」の駐車場用地として県より買収しましたが、大正期の趣を残す数少ない建物として、市民から保存すべきとの要望の声が上がりました◆

そこで、平成12年に有識者で「旧教育庁舎調査委員会」が発足し、平成13年に「調査提案書」として11の活用案が提出され、「児童図書館」として実施設計費を補正予算で計上することにになりました◆しかしながら、躯体の強度の問題等もあり、計画上無理があるとの判断から、市長ヒアリングで撤回され、その後、「外壁を保存して内部を新築する工法での活用計画」に転じました◆児童図書館を要望する団体からは不満の声上がり、平成14年に「小馬出10番館デザインワークショップ」を立ち上げ、市民と共に協議を重ねて「旧教育庁舎保存活用事業」の実施設計が完成しました◆ところが、事業の必要性と緊急性、施設の中身についての理解が得られず、予算確保が頓挫。防衛庁補助金による見直し指示が出されて、再び設計の見直し変更が求めら



内部を新築する工法での活用計画

れました◆その後、防衛本庁の理解が思うように進まず、補助金の交付が決定したのは平成16年も師走のこと。平成17年3月、ようやく市民の念願が叶い、晴れて工事着工の日を迎えました◆同年6月には、子育て中の方をはじめ、絵本館に賛同しサポートしようと思

う市民の方を公募し、「絵本館開館準備スタッフ会議」を立ち上げました◆12回に及ぶ会議では、図書館の機能や絵本の選定、家具や工事内容等について、熱い思いの意見交換が行われました。

### 松居直夫妻と はじめの一步

◆こうした中、準備スタッフの強い要望により、平成18年2月に開館プレイベントとして「松居直講演会」が開催され、松居直夫妻と絵本館との交流が始まりました◆そして、同年4月には、「ぶっくらん」という愛称も決

まり、館長と絵本館職員が決定して、平成18年7月、ついに「空とこどもの絵本館」のオープンに漕ぎ着けることができました。

### 建設に多くの汗

◆建設に携わった関係者の皆様が「少しでも良いものを造ろう」と、完成に至る最後の最後まで、市民の思いを一つにして、工事の変更や微調整に多くの汗を流していただきました。心から感謝すると共に、当時の思いをぜひ皆様のお力で、未来へと繋げて行っ

と樹木が大きい「前途洋々」の花言葉「壮麗」等があります。



立派な花を放つ「前途洋々」の花言葉「壮麗」等があります。



旧教育庁舎東側にあった 泰山木（タイサンボク）